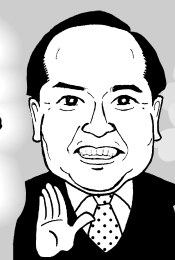


# 先憂後楽



『先憂後楽』とは、「国の大事については、世の人々に先立って憂い、そして国がよく治まり人民が楽しんでいるのを見届けてから初めて自分も楽しむ」という意味です。  
(題字揮毫 故 林田悠紀夫先生)

2010.3 第35回 府政報告 多賀久雄事務所  
〒626-0008 京都府宮津市万年895-8 TEL(0772)22-6335 FAX(0772)22-6335  
<http://www.tango.or.jp/taga/> E-mail: taga@tango.or.jp

## みんなで創ろう! 輝くふるさと



皆さんには、お元気でご活躍のことと存じます。

さて、山田知事の二期目が満了しようとしておりますが、京都府にとって、この地域にとって、まだまだたくさんの課題があります。

課題解決に向けては、議会や委員会での質疑を通しての提案や問題提起、毎年やっております自民党議員団としての要望などを中心に取り組んでおりますが、先日、これからの京都府の方向などについて、山田知事との意見交換のひとつときを持ちました。

京都府がどのようになっていくのか、皆様も大変気になるところではないかと思っておりますので、今号で山田知事との語らいをご紹介します。



## 山田知事との語らい

### < 環境・文化を磨いて >

多賀 山田知事は、京都府の発展のために、地域の特徴を生かした取組を進めておられますが、ここ丹後地域では、昨年「自然公園ふれあい全国大会」を開催されました。

知事 多賀先生や井上宮津市長をはじめ、地域の多くの方々に御協力をいただき、本当にありがとうございました。大会を通じて、丹後地域の魅力である海と山が織りなす美しい自然と豊かな歴史、地域文化、食などが全国に発信できたことは、大変よかったですと思っています。

多賀 知事は常々、京都の強みは「環境」と「文化」だとおっしゃっておられますね。

知事 京都の特徴は、環境と文化が融合し、双方が持続可能な社会をつくりあげているところです。ここ丹後地域には、日本三景の天橋立がありますが、この地域の白砂青松の海洋景観は、日本の風景美の原型であると言われていています。こうした文化的にも価値の高い美しい自然を守り、次代に伝えるため、京都府も地元市町と一緒に、世界歴史遺産への登録を目指して、取り組みを進めています。また、昨年10月には「世界ジオパーク」の国内候補地に選定されました。こうした貴重な丹後の自然・文化を大切にしていきたいと思っています。

### < これからの京都府の方向 >

多賀 今、京都府では、これからの京都府の姿を示すため、「明日の京都」ビジョンづくりを進めておられますが、これからの京都府は、どのような方向を目指しておられるのですか。

知事 少子・高齢化が進み、経済は安定成長、その中で格差が拡大する今、閉塞感が私たちを覆っています。それを打ち破るためには、やはり、府民一人ひとりが存分に



力を発揮できる活力のある社会をつくることが重要だと考えています。京都の最大の財産は「人」であり、様々な分野で人づくりを進めていきたいと思えます。また、環境や文化を磨き、知恵やものづくりの力を伸ばしていくことも大切です。ただし、その根底には、府民の誰もが安心して暮らせ、信頼し合って、つながり、支え合う社会がなければなりません。ですから、生活や福祉、医療、雇用が守られる福祉安心社会への転換を図っていくための取組を進めていかなばならないと考えています。いずれにしても、今、有識者で構成する懇談会や府民交流会も開催し、様々な意見を聞きながら、検討を進めています。

多賀 地域の活性化については、どのような取組を考えておられますか。

知事 京都府の発展戦略として、この間、取り組んでいるのが、「南北軸の強化」です。国土軸が20～30kmしかない京都府の発展を図るためには、南北軸の強化が絶対です。このため、北では経済成長が著しい中国や韓国、ロシア等の日本海側の玄関となる京都舞鶴港、中部では、新しいものづくりの拠点となる新光悦村、南は文化・学術・研究の拠点となる学研都市など、中核となる拠点を整備し、それらを京都縦貫自動車などの高速で結び、相乗的に効果を上げていこうと考えています。今年、京都舞鶴港に待望の舞鶴国際ふ頭が供用開始しますし、学研都市も京都大学の附属農場の立地が決定するなど、姿が見えてきました。

#### < 交通網整備に全力 >

多賀 京都縦貫自動車道については、平成26年度全線開通が難しいという報道がありました。見通しはどうか。

知事 高速道路が分断された状態で放置されるのは、非効率であり、もったいないので、是非、予定どおり事業を進めてもらいたいと強く要請しています。また、丹後地域には、もう一つの高速道路・鳥取豊岡宮津自動車道の宮津野田川道路が平成22年度に完成する予定ですので、その実現と野田川以北の整備促進に努めていきます。さらに広域観光の振興に向けた北近畿タンゴ鉄道と自動車との連携など、知恵を出して、カバーしてきたいと思っています。

多賀 京都縦貫自動車道をはじめ、高速道路の整備は、京都府民の長年の悲願です。私たち自民党京都府議会議員団も全面的に応援しますので、是非ともよろしく願います。

知事 自民党京都府連の幹事長である多賀先生の応援は、大変心強いです。これからも変わらぬ御支援・御協力をお願いいたします。



## 2月定例会から

この先憂後楽が皆さんに届く頃には終わっておりますが、2月4日に開会し、3月12日に閉会した2月定例会で、私が一般質問に立ちました。

質したのは、「地産地消について」「学力向上について」「医療体制の拡充について」「介護施設の整備について」の四項目であります。

そこで、「地産地消について」の質疑応答の抜粋を報告いたします。

質問 間人ガニに続く府内産水産物二例目の地域団体商標登録がされた丹後とり貝は、生産額の目標1億円を達成できていないものの、着実に高級食材としての評価が高まり、京都市内をはじめ北海道や九州などへのマーケット拡大とともに、地元消費の拡大にも大きな期待が寄せられている。一方、生産額1億円達成には種苗施設の増設といった課題もあると考えるが、丹後とり貝の地産地消をどのように進めようと考えているのか、種苗供給者としての決意を含めお答えください。

答弁 宮津市、舞鶴市では丹後とり貝提供店マップを作成し、41店舗での消費拡大を進めております。しかし、提供店での使用数は約23,000個と全生産数のおよそ2割に止まっていることから、一層の消費拡大が必要と考え、今後は提供店を丹後全域に広げていくとともに、日帰り圏内である京都市内での誘客キャンペーン活動にも力を入れてまいります。

生産面につきましては、現在、海洋センターにおける種苗の生産能力は約33万個で、漁業者の要望に対して十分には応えられていないため、種苗生産用の筏などの施設を増強するとともに、種苗生産技術を承継できる研究者の確保・育成にも努めながら50万個規模の種苗供給体制を目指してまいりたいというふうに考えております。



消防団



まごころ



スキー



パレード